

第4回総合計画審議会（R1.10.30）意見への対応

資料（1）

No	委員名	原案頁	発言概要	対応区分	対応状況
1	江頭委員 (市教育委員会)	P25	目標値が現状値と同じという点では、居住誘導区域内の人口密度も分りづらい	原案を修正	«以下のとおり、注釈を追加» 注) 人口減少が見込まれる中、コンパクトな都市の形成と区域内における一定規模の人口を確保することを示す指標として設定
2	江頭委員 (市教育委員会)	P26	「外で活動したくなるまち」の目指す姿の表現について、障害者への配慮が欠けているように感じた	原案を修正	【修正前】 子どもから高齢者まで、誰もが生き生きと活動し、集い、楽しむことができる空間がまちの中に創出されるとともに、 【修正後】 子どもから高齢者まで、あらゆる世代の人々が生き生きと活動し、集い、楽しむことができる空間がまちの中に創出されるとともに、
3	原口委員 (市議会)	P29	動物愛護について、殺処分ゼロなど明確に打ち出してほしい	【参考】	分野別の個別計画や事業推進において検討していきます。
4	山下委員 (九州産業大学)	P31	(各論第2章の導入部分) 3段落目、文章が長くて分かりづらい	原案を修正	【修正前】 また、子どもは地域の宝であり、これまで、子どもの幸せを最優先に久留米市が進めてきた、すべての子どもと子育て家庭を社会全体で支える取組とともに、安心して学ぶことのできる環境で、子どもたちが未来への夢と希望を持ち、豊かな個性と能力を発揮しながら、社会に参画し、活躍する力を身に付ける教育を進めることが重要です。 【修正後】 また、子どもは地域の宝です。子どもの幸せを最優先に考え、すべての子どもと子育て家庭を社会全体で支えていくことが重要です。子どもたちが安心して学べる環境の中で、夢と希望を抱き、豊かな個性と能力を磨き上げながら、社会に参画し活躍する力を身に付ける教育を進める必要があります。
5	荒井会長 (久留米大学)	P32	社会的包摂の言い換えについては、市民の理解が促される表現が好ましく、武藤委員の案②がよい	原案を修正	【修正前】 全ての人々が社会的に排除されることなく、社会の構成員として誰一人取り残さないようにする視点での人権課題解決の取組 【修正後】 あらゆる人々が孤立したり、取り残されたりすることがないように、社会全体で包み、支え合うという視点での人権課題解決の取組

第4回総合計画審議会（R1.10.30）意見への対応

資料（1）

No	委員名	原案頁	発言概要	対応区分	対応状況
6	小松委員 (青年会議所)	P33	校区コミュニティ組織における女性役員の割合を増やすことが目標ではなく、どんな環境を整えるかが重要であり、そのことを整理してほしい	【参考】	環境整備については、施策の内容の考え方で対応していきます。その成果を図るものとして「校区コミュニティ組織における女性役員の割合」を設定しています。
7	早田委員 (市議会)	P34	大規模自然災害という表現について、豪雨に焦点を当ててはどうか	原案を修正	【修正前】 近年、頻発する大規模自然災害を教訓に、その被害を可能な限り最小限に抑えるため、 【修正後】 近年頻発する、豪雨をはじめとした大規模自然災害を教訓に、浸水等の被害を可能な限り最小限に抑えるため、
8	家永委員 (JAくるめ)	P35	床上浸水や農業被害の状況をデータ等で示すと、より良いものになるのではないかな	【参考】	分野別の個別計画や事業推進において検討していきます。
9	小松委員 (青年会議所)	P35	防災士・防災リーダーの数は、指標として分かりづらい	【参考】	総合的な危機管理の強化においては、都市基盤の整備とともに、人的体制の強化による地域防災力の向上が重要であると考えております。その成果を図るものとして「防災士・防災リーダーの数」を設定しています。
10	古賀晃委員 (人権啓発推進協議会)	P35	防災の指標「防災士・防災リーダーの数」について、人だけでなく、モノに関する指標も入れてほしい	【参考】	ハード整備については、分野別の個別計画や事業推進において検討していきます。
11	小松委員 (青年会議所)	P35	交通事故発生件数は、現在減っていることがうかがえるし、今後の技術革新で確実に減ると考えられるため、指標として相応しくないのではないかな	原案を修正	【修正前】 交通事故発生件数 【修正後】 交通事故発生件数 [10万人当たり]
12	早田委員 (市議会)	P35	インフラ整備について、指標を立ててほしい	【参考】	ハード整備については、分野別の個別計画や事業推進において検討していきます。

第4回総合計画審議会（R1.10.30）意見への対応

資料（1）

No	委員名	原案頁	発言概要	対応区分	対応状況
13	合原委員 (民生委員児童委員協議会)	P40	教育に関する表現が綺麗すぎる。現場の実情と乖離があるように感じた。「どうすればいいか」という具体策が見えない	【参考】	具体策については、分野別の個別計画や事業推進において検討していきます。
14	山田委員 (市議会)	P42	体力の向上という視点も大切であり、欠けているのではないか	原案を修正	【修正前】 特色ある教育を進めます。 【修正後】 特色ある教育を進めるとともに、子どもたちの発達や成長を支え、生きる力の根底となる体力の向上に取り組みます。
15	江頭委員 (市教育委員会)	P46	目標値が現状値と同じという点では、心肺停止者の発症一か月後の生存率も分りづらい	原案を修正	«以下のとおり、注釈を追加» 注) 久留米市のドクターカー運行事業における、心肺停止者の発症一ヶ月後の生存率は、全国平均を上回る実績で推移しており、現在の体制を維持することを目標として設定
16	吉岡委員 (男女共同参画推進ネットワーク)	P49	生活自立支援センターの相談支援件数の目標値について、積極性が感じられない	原案を修正	«以下のとおり、注釈を追加» 注) 久留米市における相談支援件数は、国の基準を上回る実績で推移しており、現在の支援件数を維持することを目標として設定
17	穴見委員 (商工会議所)	P53	地域商業の振興について、踏み込んで記載してほしい	原案を修正	【修正前】 地場特産品の販売促進、商品開発など、地域商業の更なる振興に向けた支援などにも取り組みます。 【修正後】 地域商業の更なる振興に向けて、顧客獲得や販売力向上などによる経営基盤の強化や経営の効率化、地場特産品の販売促進や商品開発など、積極的な支援に取り組みます。
18	原口委員 (市議会)	P53	有機農業について、記載してほしい	原案を修正	【修正前】 効率化や高品質生産を実現するスマート農業を推進します。 【修正後】 環境に配慮した農業や効率的な生産を実現するスマート農業の推進に取り組みます。

第4回総合計画審議会（R1.10.30）意見への対応

資料（1）

No	委員名	原案頁	発言概要	対応区分	対応状況
19	家永委員 (JAくるめ)	P54	自然循環型農業を推進しているし、酪農家も多いため、表現を盛り込んでほしい	原案を修正	【修正前】 効率化や高品質生産を実現するスマート農業を推進します。 【修正後】 環境に配慮した農業や効率的な生産を実現するスマート農業の推進に取り組みます。
20	原口委員 (市議会)	P54	外国人受け入れについて、民間団体との連携の視点を記載してほしい	原案を修正	【修正前】 今後増加していくことが見込まれる技能実習生をはじめとする外国人労働者の受入れ態勢づくりなどの支援に取り組みます。 【修正後】 今後増加していくことが見込まれる、技能実習生をはじめとした外国人労働者の受入れ支援についても、国や県、関係団体などと連携を図りながら取り組みます。
21	家永委員 (JAくるめ)	P54	労働環境の整備に関して、待機児童解消の現状と指標を盛り込んでほしい	原案を修正	【修正前】 幼児教育・保育や学童保育の需要量に応じた提供と質の向上に取り組みます。 【修正後】 幼児教育・保育や学童保育に関する質の向上と待機児童の解消を含む需要量に応じた提供に取り組みます。（※41ページで対応）
22	荒井会長 (久留米大学)	P57	大学、研究機関等の研究者数の目標値について、分かりづらいと感じた	【参考】	«但し、以下のとおり、注釈を追加» 注) 18歳人口の大幅な減少や急激な技術革新など、学術研究機関を取り巻く環境が変化する中、社会的な役割を維持し続けることを示す指標として設定
23	山下委員 (九州産業大学)	P57	大学、研究機関等の研究者数の目標値について、地域との連携などの指標に変えてはどうか	【参考】	«但し、以下のとおり、注釈を追加» 注) 18歳人口の大幅な減少や急激な技術革新など、学術研究機関を取り巻く環境が変化する中、社会的な役割を維持し続けることを示す指標として設定

第4回総合計画審議会（R1.10.30）意見への対応

資料（1）

No	委員名	原案頁	発言概要	対応区分	対応状況
24	古賀晃委員 (人権啓発推進協 議会)	P57	国際性豊かなまちづくりの中に、「教育」の表現を盛り 込んでほしい	原案を修正	【修正前】 外国人が安心して生活できるように、ワンストップ相談窓口の設置や生活情報の多 言語化など必要な支援の充実に向けて、 【修正後】 外国人が安心して生活できるように、ワンストップ相談窓口の設置や生活情報の多 言語化、日本語教育の機会の確保など、必要な支援の充実に向けて、
25	山下委員 (九州産業大学)	P57	外国人の日本語教育について、もう少し踏み込んで記 載してほしい	原案を修正	【修正前】 外国人が安心して生活できるように、ワンストップ相談窓口の設置や生活情報の多 言語化など必要な支援の充実に向けて、 【修正後】 外国人が安心して生活できるように、ワンストップ相談窓口の設置や生活情報の多 言語化、日本語教育の機会の確保など、必要な支援の充実に向けて、
26	矢次委員 (久留米ブランド研 究会)	P61	市外からの評価について、指標にできないのであれば、 表現に盛り込んでほしい	原案を修正	«以下の表現を追加» また、市外の人々の久留米に対する印象や、他の自治体との比較による久留米の 強みや弱みといった特徴の把握などにより、より効果の高い戦略的なプロモーションを 展開していきます。
27	早田委員 (市議会)	P66	コンパクトな行政運営に関しては、民間活力の活用な どの表現を記載してはどうか	原案を修正	【修正前】 I C Tなどの最新技術を積極的に活用し、より効率的で質の高い市民サービスの提 供に取り組みます。 【修正後】 I C T等の最新技術や民間活力の積極的な活用などにより、効率的で質の高い 市民サービスの提供に取り組みます。

第4回総合計画審議会（R1.10.30）意見への対応

資料（1）

No	委員名	原案頁	発言概要	対応区分	対応状況
28	山下委員 (九州産業大学)	その他	第4次基本計画のポイント中、④「ポテンシャル」の表現が曖昧で分かりにくい	原案を修正	【修正前】 ポテンシャルを生かした開発の促進（駅を拠点とした開発促進、道路交通網の充実） 【修正後】 交通のポテンシャルを生かした開発の促進（駅を拠点とした開発促進、道路交通網の充実）
29	高山委員 (LOCAL & DESIGN)	その他	指標について、「主な指標」という表現に変更することで、違和感が解消するのではないか	原案を修正	【修正前】 指標項目 【修正後】 都市の姿指標（主な指標）